

各 位

会 社 名 株式会社TSIホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 下地 毅
 (東証プライム市場 コード番号 3608)
 問 合 せ 先 広報・IR室長 山田 耕平
 T E L 03(6748)0002

通期個別業績と前事業年度実績値との差異に関するお知らせ

2022年2月期 通期個別業績と前事業年度実績値との差異に関しまして、下記のとおりお知らせします。

記

1. 2022年2月期 通期個別業績と前事業年度実績値との差異(2021年3月1日～2022年2月28日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2021年2月期(A)	6,700	794	2,008	3,072
2022年2月期(B)	3,891	430	1,640	1,171
増減額(B-A)	△2,808	△364	△368	△1,900
増減率(%)	△41.9%	△45.9%	△18.3%	△61.9%

2. 差異の理由

2021年3月よりグループ再編を実施し、組織の効率化を図ったことに伴い、経営指導料が前事業年度実績と比べ28億08百万円減少しました。また、社員の転籍に伴い、人件費を中心とした販管費も減少したため、営業収益、営業利益がそれぞれ減少しています。

経常利益の項目では、保有株式の売却により、受取配当金が前事業年度実績と比べ7億23百万円減少しています。

特別利益の項目では、投資有価証券の売却益等により20億20百万円の特別利益を計上しましたが、前事業年度は、固定資産に係る信託受益権化及び譲渡等により285億24百万円の特別利益を計上しており、前事業年度実績と比べ265億04百万円減少しています。

特別損失の項目では、関係会社整理損等の発生により25億48百万円の特別損失を計上しましたが、前事業年度において関係会社整理損202億95百万円計上しているため、前事業年度実績と比べ196億30百万円減少しています。

税金面においては、法人税、住民税及び事業税を1億18百万円計上しましたが、前事業年度において法人税、住民税及び事業税を19億24百万円計上しているため、前事業年度実績と比べ18億05百万円減少しています。

上記の項目の計上により、当期純利益は前事業年度実績値に対し19億00百万円減少しています。

以 上